

専用クッションで 座位姿勢をキープ

車いす専用除圧クッション

横浜ゴムが
初の福祉用具



褥瘡予防に体圧分散用のエアマットレスは欠かせませんが、意外となかったのが車いす用の製品。昨年9月に横浜ゴムが発売した「メディエア」は、初の車いす専用の除圧機能付きクッションです。褥瘡予防にはもちろん、体幹をしっかりと支えて座位姿勢をキープできる効果も。実際にモニターで使用した現場の方にお話を伺いました。



座位での除圧を実現する「メディエア」

愛媛県松山市。年間を通じて温暖で穏やかな気候で過ごしやすい町だ。「ハッピー南久米」は、市内の閑静な住宅街にある介護付きの有料老人ホーム。白を基調とした清潔感のある明るい雰囲気の館内は、モダンなホテルのよう。現在の入居者は53名で満室。要介護1以上の認定を受けているのは40名、平均要介護度は2.9となっている。

同ホームに、車いす用の除圧機能付きエアースェルクッション「メディエア」を使用して、寝たきりから座位が保てるようになった入居者がいるという。早速訪ねて、施設長の浦谷馨さんに話を聞いた。

上半身の姿勢保持で
QOL向上や介護負担軽減に

入居者のAさん（99歳・男性）は要介護5。2010年に夫婦二人で同ホームに入居した。Aさんには認知症の症状があり、意思の疎通が難しい。それでも入居時には自分で立ち上がったり座ったりできていたが、転倒による右大腿部骨折をきっかけに寝たきりとなった。何とか車いすに座れるまでに回復したものの、座位保持が難しく、時間とともに体が前にずり落ちてくるような状態だったという。そんなとき浦谷さんが知ったのが「メディエア」だった。

横浜ゴムは大手ゴム製造メーカー。「メディエア」は、主力製品であるタイヤ開発で培ってきた緩衝技術を転用した、車いす専用除圧機能付きエアースェルクッションだ。内部にはゴム製のエアースェルが敷き詰められており、お尻にかかる負担が均一になるようセル内の空気が自動的に切り替えられる。仕組みとしては、褥瘡予防で使われる圧切り替え方のベッド用マットレスに近い。特徴的なのが、お尻が完全に底に付いてしまうことを防ぐことができる点だ。内蔵センサーによって体圧がかかり過ぎている箇所を自動的に検知、空気を送り込むことで底付きを防ぐ仕組み。また空気を送り込む配管を左右独立させ、座面の両サイドを包むガードセルを採用、より安定した座り心地を実現した。

メディエアのモニター制度があることを知った浦谷さんは、Aさんに利用を勧めてみたという。

「車いすにメディエアを置いて座ってもらっただけで、すぐその効果を実感しました。30分以上座っても、いすからずり落ちることがなくなったのです」

部屋のベッドで過ごすことが多かったAさんだが、メディエアを使うようになってからは座って過ごす時間が増えた。



浦谷馨さん



左がリクライニングシートを使用していた頃。右はメディエア使用時。上半身までしっかり支えることができています。頭の位置も安定したことで、咀嚼や嚥下がスムーズになった

ングになっていたのかもしれませんが」
もともとAさんはリクライニング式の車いすを使っていた。上半身を全体で支えなければダメだと思っていた浦谷さんは、背もたれがあるから体を支えられるわけではない

車いすで共用のリビングへ出てテレビを見たり、奥さんのそばにいても多くなったという。

「正しい座位を保てるというのはとても重要です。食事や着替えなどご本人のQOLに大きくかわってきますから」これまでスタッフは、ずり落ちや誤嚥が心配でAさんから目が離せなかったが、メディエアを使い始めると、もたれ姿勢がなくなり、食事中も正しい姿勢で咀嚼や嚥下ができるようになった。スタッフの負担を軽減する効果もあったという。

無意識のうちに
座位保持トレーニングに

浦谷さんがもう一つ驚いたのは、Aさんが自力で座位を保てるようになったことだ。1カ月ほどメディエアの使用を継続した頃、試みにメディエアを使わず座ってもらった。以前なら15分もするとずり落ちてきてしまったのが、30分以上経っても大きく姿勢が崩れることなく、座り続けていたという。「これには驚きましたね。無意識のうちに体幹のトレーニ

メディエアの仕組み

エアースェル
臀部形状を考慮し、大小2種類のエアースェルを配置。長時間座ってもお尻が痛くならない

ガードセル
座面両サイドに設置したガードセルが体幹の傾きを防止。安定した座り心地を実現



3つの特徴

1) ボタン一つで自動的に体圧を分散

体圧分散に最適な「全自動運転モード」を搭載。スタートボタンを一つで自動的に空気圧が切り替わり、快適な座り心地を提供します。

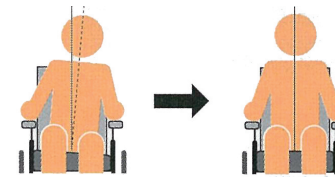
2) 「底付き検知センサー」でお尻の底付きを防ぐ

マットレスの坐骨付近にあるセンサーが、圧状況を監視。体が傾き、お尻が底に付きそうになると、空気を送り込み底付きを回避します（下図参照）。

3) 血流改善にも効果

東京大学・真田研究室の実験で、メディエアを使用した場合の血流改善効果を実証済み。血流を改善することで組織の壊死を予防します。

【図】 体幹が片側に傾いているのを内蔵のセンサーがすばやく検知



自動的に片側のセルへ送る空気量を増やし、体幹の傾きを補正

好評につき
メディエアモニター
延長実施中

メディエアは今までにない新しい座り心地。ご購入の前にお試しが可能なモニター制度を実施しています。詳細はお問い合わせください。

お問い合わせ 横浜ゴム MB ジャパン (株) TEL 03-5745-9862 <http://www.yrc.co.jp/medi-air/>